

- (法第 26 条関係「定款変更認証申請」)  
(法第 28 条関係「書類の備置き」)  
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

## 2019 年度の事業報告書

2019 年4月1日から2020 年3月31日まで

認定NPO法人 a c c o m m o n

### I 事業の成果

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ① 座談会事業 (TSUDOI)

毎月1回の座談会「TSUDOI」を開催した。盛岡市以外からの参加も多く、本人や祖母なども保護者とフラットに情報交換ができた。

4月16日(水)にはランチ座談会を開催した。

3月に予定していた親子の夜のTSUDOIは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。

##### ② 勉強会事業

###### ■ 勉強会・ワークショップ

いわて子ども希望基金の助成が終了したので、自主開催として可能な範囲で勉強会やワークショップを開催した。

作業や意見交換の伴うワークショップを多く開催したため、座学だけでは気が付かなかったことに気づけたという参加者が多かった。

防災学習の事業と並行して開催した災害についての勉強会では、防災学習で体験したことを踏まえて具体的な備えについてイメージすることができた。

3月の感覚グッズを作成するワークショップは、新型コロナウイルスの影響で開催できなかった。

###### ■ ペアレント・トレーニング

ペアレント・トレーニングの紹介、導入として、子どもの上手なほめ方講座を3回開催した。具体的な質問や、こう取り組んでみたいという意見も活発に出て、どの家庭にも役立つスキルであることを改めて感じた。

自主開催として、会員向けに全8回のペアレント・トレーニングをスタートしたが、新型コロナウイルスの影響で中断しているところである。

### ③ 学習支援事業

#### ■ まなびの HIROBA

毎月1回程度、親子での学習支援活動を開催した。体験者の参加もあり、幼児から高校生までの親子が入り混じって活動した。

ポイントカードも定着し、参加する子どもたちが各自の決めた取り組みに集中する姿が見られた。

寄付でたくさんいただいたゲームでアナログゲーム大会を開催したときには、様々な組み合わせで大人も子どももゲームを楽しんでいた。

手芸がテーマの会では、イオンのギフトカードで購入したミシンも使い、それぞれのできる範囲を少し広げた創作ができた。

#### ■ 復興バザー参加

アイーナで開催された、復興応援バザーに6月と10月参加した。

まなびの HIROBA で制作したものや、アコモンで作成したガイドブックやサポートブック、防災手帳などを販売した。

当日の準備・販売を行った子どもたちは、お買物券を報酬としてもらい、バザー商品を購入したり、まなびのHIROBAのポイントに充てたりすることを楽しんでいた。直接報酬にはつながらないが、商品を売るために工夫（声掛けや陳列）を始める子たちもいた。

#### ■ キャリア学習

お仕事体験&学習会を5回、高校めぐり「色々な高校を見てみよう！」を1回開催した。

お仕事体験&学習会では、岩手大学研究室での実験や就労支援センターひゅーまにあ盛岡でのピッキング体験を行ったり、システムエンジニアの日脇隆弘さんやいわてデジタルエンジニア育成センター長の小原照記さんのお話を伺ったりした。子どもたちは座って長時間話に耳を傾けるのは厳しい様子で、体験を織り交ぜながら進めていく方が具体的な質問も多く理解が深まるのを感じた。

「色々な高校を見てみよう！」では、前年度まで通信制高校めぐりとして開催していた高校めぐりの範囲を広げて、盛岡スコール高等学校と盛岡工業高等学校定時制を訪問した。高校の先生方のお話を伺い、通信制高校についての資料も配布したことで、選択肢が広がったという人が多かった。中学生の参加も9名もあったが、子ども同士の関わりは少なく、昼食懇談会で自然に交流ができるような工夫が必要だと感じた。

#### ④ 体験活動事業

##### ■ あそびの HIROBA/楽しく伸び伸び♪親子体験教室

子どもゆめ基金の助成を受け、親子エクササイズ・親子クッキング・親子自由研究を開催した。

親子エクササイズは小さい子たちの参加が多く、高校生になった子どもたちにはチャレンジボランティアとして子どもたちのサポートの手伝いをしてもらった。

親子クッキングはおやつ作りの人気が高く、学生・社会人ボランティアの力を借りつつも慌ただしかったが、寄せ豆腐づくりの時のように工程をシンプルにすると余裕を持って取り組めることが分かった。

親子自由研究では、工作、プログラミング、陶芸など回ごとに参加メンバーに変化が見られ、多様な子どもたちのニーズを感じた。創作活動を何度も経験している子どもたちは、道具の扱いなどにも慣れており、成長を感じた。プログラミングは、プログラミング自体に焦点を当てず「タイマーを作ろう」としていたことで、プログラミングに関心の高い子だけでなく、普段は抵抗を示すような子も参加でき、時間になっても楽しそうに取り組んでいた。

##### ■ あそびの HIROBA チャレンジキャンプ

初めてのテニsparkで、初めての2泊3日の試みで宿泊学習を行った。

前年度までは「林間学校体験」としていたが、幼児から大きくなった子まで一緒に楽しめるよう「チャレンジキャンプ」としたことで、異年齢の組み合わせで遊ぶ姿が多くみられ、互いにとって良い影響を与えていると感じた。

会員は途中参加や日帰りもできるように設定していたことで、想定していたよりも長い時間活動に参加できた子たちがいた。

##### ■ 防災学習（災害時のライフハック）

盛岡市子ども・子育て支援事業の助成を受け、6月・9月・10月と3回の防災学習を行った。

6月の「自衛隊が先生編」では、自衛隊のスキルに興味を持って参加していた子たちがいた反面、時間の長さやむずかしそうな雰囲気に参加できない子たちがいた。

9月と10月は、楽しさが伝わる短時間のプログラムにしたため、少しずつ活動に参加できる子が増えた。

「防災」の「訓練」となると尻込みしがちな子が参加しやすくなるよう、会員には自宅参加もアナウンスし、家庭で体験できるケースも増えた。

⑤ 機関紙等発行事業

アコモンとして初めての広報誌を発行し、9月に認定NPO法人を取得したことやこれまでの活動についてまとめた。賛助会員のゆう歯科医院佐藤先生にコラムを寄稿いただいた。

⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 全般

ホームページ、活動ブログ、LINE公式アカウント、Facebook、Twitter、情報受信希望者へのメール等により情報の発信を行った。

まなびのHIROBAの活動のための、イオン盛岡店黄色いレシートキャンペーン店頭活動に参加した。

■ 相談・居場所「あいのま」

前年度に比べて、居場所や相談で利用する人が増えた。本人や保護者以外の来所も多かった。他の支援機関と協力したり、つなげたりすることもあった。

■ 助成金等の申請

「あそびの HIROBA/楽しく伸び伸び♪親子体験教室」と「あそびの HIROBA 特別企画/チャレンジキャンプ」が、平成31年度子どもゆめ基金(体験活動)に採択された。

「発達障がいの子どものための自立のためのキャリア教育事業」が、平成31年度いわて子ども希望基金に採択された。

「災害時のハックを学ぼう」が、平成31年度盛岡市子ども・子育て支援事業に採択された。

■ 研修等への参加

日時	内容
5月18日(土)	「気になる子の行動面・学習面の支援を考えよう」(主催:星槎大学、講師:星槎大学大学院阿部利彦先生、学びルームポラリス澳塩渚先生)に、スタッフ、会員が参加した。
5月24日(金)	盛岡市教育振興推進委員会総会講演「多様な子どもへのかかわり方」(主催:盛岡市教育委員会、講師:岩手県発達障がい者支援センターウィズ長葭康紀氏)に、スタッフが参加した。
6月3日(月) ~4日(火)	「ファシリテーション研修」(主催:岩手県立大学、講師:日本ボランティアコーディネーター協会 加留部貴行氏)に、スタッフが参加した。

6月9日(日)	「発達障がい意見交流会」(主催:JDDnetいわて)に、スタッフ、会員が参加した。
9月13日(金)	「SDGsの具体的な活用を知る」(主催:岩手県、運営:いわて連携復興センター、講師:一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 新田英理子氏)に、スタッフが参加した。
9月29日(日)	「生きづらさを抱えた人の暮らしと自立を考える～自閉スペクトラム症のある人が自立するために」(主催:岩手県保険医協会、講師:岩手県発達障がい者支援センターウィズ長葎康紀氏、株式会社LIVE LABO 觸澤陽介氏)に、スタッフ、会員が参加した。
9月29日(日)	子どもの未来支援セミナー「子どもの失敗する権利と大人のほめる権利」(主催:岩手県教育委員会、講師:明星大学竹内康二先生)に、スタッフ、会員が参加した。
9月30日(月)	「見つめ直そう!寄付者・協力者とのコミュニケーション」(主催:岩手県、運営:いわて連携復興センター、講師:認定NPO法人難民支援協会 石井弘明氏)に、スタッフが参加した。
10月6日(日)	「発達障がいとひきこもり」(主催:JDDnetいわて)に、スタッフが参加した。
10月7日(月) ～8日(火)	「社会福祉コーチング」研修(主催:岩手県立大学、講師:コミュニケーション・トレーニング・ネットワーク 岸英光氏、佐藤和美氏)に、スタッフが参加した。
10月17日(木)	吉藤オリィ講演会(主催:松園中学校、講師:オリィ研究所吉藤オリィ)に、スタッフ、会員が参加した。
10月23日(水)	「プレゼンカ=共感力～プレゼンテーションで共感を得るNPOになろう」(主催:岩手県、運営:いわて連携復興センター、講師:ヤフー株式会社 伊藤羊一氏)に、スタッフが参加した。
11月3日(日)	「プログラミング教育が目指すもの～プログラミング的思考の先に～」(主催:特定非営利活動法人codeMo、講師:青山学院大学特任教授 阿部和広先生)にスタッフが参加した。
11月10日(日)	自閉症講演会「自閉スペクトラム症の理解と支援～子供から大人への発達精神医学～」(主催:岩手県自閉症協会、講師:信

	州大学本田秀夫先生)に、スタッフ、会員が参加した。
11月14日(木)	企業×NPO 岩手交流会(主催:岩手県、運営:いわて連携復興センター、講師:株式会社キャッセン大船渡 臂徹氏)に、スタッフが参加した。
12月4日(水)	「発達障がい児に用いる応用行動分析(ABA)のいろは」(主催:森田小児科医院、講師:米国ユタ州ユタビハイピアサービス藤原水奈先生)に、スタッフ、会員が参加した。
1月12日(日)	第1回発達障がい対応力向上研修(主催:岩手県医師会、講師:岩手県保健福祉部藤澤広偉氏、岩手県療育センター高橋愛美氏、岩手大学佐々木全先生、森田小児科医院森田友明先生)に、スタッフ、会員が参加した。
1月19日(日)	支援が必要な子どものための「性教育」の伝え方講座(主催:フラット・ゼロ、講師:ハッピーバース研究会よしだりえ氏)に、スタッフ、会員が参加した。
1月24日(金)	おとなの発達・精神サポーター養成講座第1回「知っておくと役に立つ制度と基礎知識」(主催:いわてパノラマ福祉館)に、スタッフが参加した。
2月2日(日)	ペアレントメンター公開講座(主催:JDDnetいわて、講師:星槎大学阿部利彦先生)に、スタッフ、会員が参加した。
2月21日(金)	おとなの発達・精神サポーター養成講座第2回「安心して働く(暮らす)ためのサポート」(主催:いわてパノラマ福祉館)に、スタッフが参加した。
2月23日(日)	第2回発達障がい対応力向上研修(主催:岩手県医師会、講師:岩手県立療育センター 高橋愛子氏、岩手医科大学 吉岡靖史先生、発達障がい沿岸センター 佐藤友紀氏、岩手県立中央病院 西野美奈子先生)に、スタッフ、会員が参加した。
2月24日(月)	アンガーマネジメントキッズインストラクター養成講座(主催:日本アンガーマネジメント協会、講師:高橋朋広氏)に、スタッフが参加した。
2月28日(金)	「親なきあとは 親あるうちに」(主催:盛岡広域圏育成会、盛岡市手をつなぐ育成会、講師:渡部行政書士社労士事務所 渡部伸氏、ヒソプ工房施設庁 阿部孝司氏)に、スタッフが参加

	した。
3月27日(金)	おとなの発達・精神サポーター養成講座第3回「サポーターとしての傾聴法」(主催:いわてパノラマ福祉館)に、スタッフが参加した。

■ 活動の展示

11月5日~12日、N 活フェアで活動の展示を行った。

1月18日~3月1日、盛岡市市民協働推進課の地域活動ポスターセッションに参加した。

■ メディア等掲載

9月29日岩手日報に、認定NPO法人取得についての記事が掲載された。

10月9日毎日新聞に、防災学習についての取り組みが掲載された。

2月4日読売新聞「ただいま活動中」に、アコモンが取り上げられた。

いわての NPO・ボランティア活動情報紙【パイン】VOL.2秋号に、認定NPO法人取得の記事が掲載された。

もりおかユースレター3月号に、アコモンの紹介が掲載された。

(2) その他の事業

その他の事業は行わなかった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	事業費の 金額 (千円)
① 座談会事業	集団活動が苦手な子ども の家族や本人を対象とした、 悩みや情報を共有するための 座談会	5/22 6/7 8/21 9/2 10/23 11/20 12/11 1/15 2/25	アイーナ	4	盛岡市、 花巻市、 滝沢市、 紫波町の 保護者 延べ89 名	18
	ランチ座談会開催	4/16	ふれあい ランド岩 手内  雲の信号			



② 勉強会事業 ■ 勉強会・ ワークショップ	ワークショップ「サポートブックを作ろう」	4/16	ふれあいランド岩手	6	岩手県内外の保護者、本人、支援者 延べ108名	23
	ワークショップ「学校との連携を考える」 岩手県教育委員会学校教育室 五安城正敏先生	5/15	アイーナ			
	ワークショップ「子どもの見方を変えてみよう」	6/7				
	テーマ座談会「夏休みの宿題対策」	7/10				
	勉強会「SST講座～適応思考を身につけて心に余裕を～」 岩手県立大学看護学部講師、SST普及協会認定講師 佐藤史教先生	8/28				
勉強会「震災の時に大変だったこと、今から備えられること」 宮古圏域障がい者福祉推進ネット 相談支援専門員 高屋敷大介さん 盛岡市社会福祉協議会地域づくり推進員 澤崎かおるさん	9/13					
ワークショップ「ネットリテラシーを正しく伝えよう」 岩手県立大学看護学部講師、SST普及協会認定講師 佐藤史教先生	11/7					

	勉強会「達成感を味わい、やる気を生み出す運動体験」一関修紅高等学校 清田博美先生  勉強会「相談支援事業所との上手な付き合い方」ステップしもおおた所長 吉田康司先生	1/21  2/19				
②勉強会事業  ■ペアレント・トレーニング	上手なほめ方講座 (一般向け導入講座)  会員向けペアレント・トレーニング (一期全8回)	11/21 12/12 2/13  1/29	もりおか子育て応援プラサ ma*mall  アイーナ	3	盛岡市近郊の保護者 計14名	3
③学習支援事業  ■まなびのHIROBA	コグトレやタブレット、ソーシャルスキルトレーニングなどを取り入れた学習支援を計画し、実践した。  <特別プログラム>  チャレンジキャンプのオリエンテーションを兼ねて虫除けスプレー作り  復興バザー販売体験  お試しLABO×Cafe	4/20 6/8 8/17 9/7  7/6  10/14  11/9 12/14	アイーナ	6	会員親子体験親子(子ども延べ80名)	107  4

	保護猫のお世話体験 遠足（もりねこ）	12/21				
	アナログゲーム大会 （ピンクシャツデー）	1/25				
③学習支援事業 ■キャリア学習	集団活動が苦手な子どもと保護者を対象に、進路や仕事について学び考える活動を行った。			6	盛岡市、滝沢市、紫波町、矢巾町等の親子延べ91名	542
お仕事体験&学習会	お家でお仕事をするシステムエンジニアの方のお話を聞いてみよう！	4/13	アイーナ			
	大学研究室のお仕事を体験してみよう！	6/22	岩手大学			
	倉庫のお仕事①：注文書を見て商品発送の準備をしてみよう！	7/27	ひゅーまにあ盛岡			
	好きなことを見つける！から始めよう	11/16	アイーナ			
	倉庫のお仕事②：商品を棚に収めたり発送の準備をしてみよう！	1/18	ひゅーまにあ盛岡			
色々な高校を見てみよう！	右記高校を訪問、見学をし、通信制高校に限らず多様な高校について情報を提供した。	10/9	盛岡スコール高等学校/盛岡工業高等学校（定時制）			

<p>④ 体験活動事業</p> <p>■ あそびのHIROBA(親子エクササイズ、親子クッキング、親子自由研究)</p>	<p>集団活動が苦手な子どもと保護者が、運動や料理、工作など伸び伸びと体験できる会を開催した。</p> <p>親子エクササイズ</p> <p>親子自由研究「ひょうたんランプ」</p> <p>親子クッキング「手作りアイスでパフェを作ろう」</p> <p>親子自由研究「マイクロビットプログラミングでタイマーを作ろう」</p> <p>親子エクササイズ「水の事故を防ごう～どんな格好だと動きやすい？」</p> <p>親子クッキング「寄せ豆腐とおから料理」</p> <p>親子エクササイズ</p> <p>親子自由研究「陶芸教室オリジナルクリスマスツリーを作ろう」</p> <p>親子自由研究「キューブカレンダーを作ろう」</p> <p>親子エクササイズ</p>	<p>4/28</p> <p>5/5</p> <p>6/29</p> <p>8/7</p> <p>9/29</p> <p>10/19</p> <p>11/24</p> <p>12/1</p> <p>1/8</p> <p>2/8</p>	<p>西部公民館</p> <p>アイーナ</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>PAW</p> <p>アイーナ</p> <p>エスポワールいわて</p> <p>アイーナ</p> <p>KITENE</p> <p>西部公民館</p>	<p>6</p>	<p>盛岡近郊の親子延べ203名</p>	<p>781</p>
--	--	---	---	----------	----------------------	------------

■ あそびのHIROBA (チャレンジキャンプ)	チャレンジキャンプ オリエンテーション	7/6	アイーナ		盛岡市、 滝沢市、 紫波町、 矢巾町の 親子21名	792
	チャレンジキャンプ	7/13- 15	テンパーク			
■ 防災学習 (災害時のハックを学ぼう)	自衛隊が先生編	6/2	アイーナ	6	盛岡市近 郊の親子 延べ49 名	216
	防災士さんが先生編 ①	9/23				
	防災士さんが先生編 ②	10/5				
⑤機関紙等発行事業	アコモンとしての広報誌第1号を発行	1月	事務所	6	会員 賛助会員 その他 岩手県内 関係機関 500部	10 *本部事務局 印刷製本費 ・通信運搬費
⑥その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	情報発信 居場所・相談 助成金申請 研修等への参加 メディア等掲載	随時	事務所等	6		105 *①～⑤以外の事業費

(2) その他の事業

2019年度は、その他の事業を実施しなかった。